

豊能町 議会報告会報告書

【西地区】

- 1 実施日時：平成27年5月23日（日）9：30～11：30
- 2 実施会場：豊能町立西公民館大会議室
- 3 報告者：議員14名、事務局 1名
- 4 出席者数：43名
- 5 報告内容：①環境問題特別委員会報告
②総務建設水道常任委員会報告
③福祉教育消防常任委員会報告
④予算特別委員会報告
⑤本会議トピックス ・地方教育行政等について
・付帯決議
・政務活動費
- 6 意見交換会

主な質疑応答

●議会に関すること

問 ダイオキシン問題は町にとって大事な時期にきている。議会基本条例の一般会議を開催し、町民の声を聞く場を設けて欲しい。

答 一般会議については、要綱に基づいて実施をしているので、環境施設組合の内容は取り上げることはできない。

問 議員の定数についてどう考えているのか。

答 議会基本条例で2年に1回検証することになっており、この9月に検証する時期になり、議論する予定である。

問 政務活動費が安いというのが自慢ではなく、議員がグループをつくり町おこしや雇用促進になるための調査を行い、住民の意見を聞き、議会側からも提案し住民の声を反映して欲しい。

答 地方創生で各自治体の実力が求められており、自治体が独自性を持って地域の活性化していく時代にきている。よその事例を参考にすることも重要であり、政務活動費の使い方については今後、議員と話し合っていきたい。

●行政に関すること

問 町は自主防災組織については、必要なものを補助金を使って買わせるだけで、自主的に整理もしないで自治会という民間へ丸投げしている。これが町の実体。これを改善するためには、議員が追及しなければ何も解決できない。このチェックリスト、新たなチェック項目を町が見ているのかどうか、みなさんのお力を貸していただきたい。

答 自主防災組織の充実ということで、西地区の自治会では吉川を除いてすでに組織があり、さらに充実させるということで予算を計上しており、国からの交付金も入っているので、必要であれば町へ言ってもらいたい

問 豊能町の公営建物を使って企業誘致をもっとすべきである。

答 議会として一般質問等で、町の活性化に取り組んでいます。行政にも申し入れたい。

問 人口流出問題について、どう考えているのか。また、箕面トンネルの無料化を公共交通（バス路線）に限定し、運賃を下げてもらいたい。

答 人口流出の防止については議会も同じ思いもあり、一般質問等で提案しているので、今後もあきらめずに進言していきたい。

箕面トンネルについては、無料化ではないが試行的に、7月1日から9月30日の3カ月間定期券の発行をして社会実験をすることになっています。公共交通の無料化については一般質問や議員活動を通じて進言していきたい。

問 光風台駅前エスカレーターの更新について、調査報告書を見ると出来ない理由を搜しているようにしか思えない。また、行政の進め方が遅いため、タイミングを逃してしまうことに危惧している。

答 平成26年の当初予算で500万円の予算が計上され可決しており、議会としての意思決定はできている。本来なら27年度で議案が出てくるはずだったが、調査の段階で基礎部分に課題があり、予算が計上されなかった。議会としては、行政がどう判断してどう決断をされ、進めていくかにかかっている。

問 豊能町も少子高齢化と人口減の問題がある。この問題の解決には行政・議会・住民が意見を交わし、地域にあった施策をたて、町おこしをお願いしたい。

答 人口推計によると、平成12年度が26,782人。平成26年度では21,454人。高齢化率が35%となっています。子どもの養育・教育にかける予算が少ない。今回、18歳まで医療費の助成を拡大したことは画期的であり、賛否はあると思いますが、今後もみなさんと議論をし、お知恵を拝借したい。

〔意見・要望〕

- 委員会の議事録申請書提出について
- 土砂災害防止法について
- 土砂災害ガイドラインについて
- 住宅街の車の騒音について
- 国道477号線（一の鳥居～光風台）について

●ダイオキシンに関すること

問 ダイオキシンの処理が町長の任期中に可能であるのか。また、国からの交付金がもらえるのかどうか。そして、実施にあたって地域住民との話し合いが進んでいるのか。

答 町長の任期はH28年の10月まで。処理には1年2か月かかるといわれており、タイムリミットはこの6月・7月までに予算計上し、可決しなければ間に合わないという状況と聞いている。
交付金については、申請前であり現時点では未定である。地域への説明会は現在進んでいない状況と聞いている。

【東地区】

- 1 実施日時：平成27年5月23日（土）14：00～16：00
- 2 実施会場：豊能町立中央公民館大会議室
- 3 報告者：議員14名 事務局1名
- 4 参加者数：6名
- 5 報告内容：①環境問題特別委員会報告
②総務建設水道常任委員会報告
③福祉教育消防常任委員会報告
④予算特別委員会報告
⑤本会議トピックス ・ 地方教育行政等について
・ 付帯決議
・ 政務活動費

6 意見交換会

主な質疑応答

●議会に関すること

問 人口減問題に関して、議員は行政に対して提案をしているのか。
答 議会としては一般質問等を通じて提案をしており、また各議員がそれぞれの立場で行政に対して提案をしている。

問 議員として、具体的な提案がなされていないのではないか。
答 議員が具体的に事例をもって提案している。執行するのは行政である。費用・重点をどこに置くかによって判断されている。一般質問・議員活動を通じて提案をしているが、なかなか実現化するものが少ないというのが現状である。

●行政に関すること

問 西地区の駐車場を有料化する話があるが、有料化すると西地区へ行くことに躊躇する。この点に関してどう考えているのか。

答 駐車場の有料化については議会から付帯決議を提出、有料化についてはしっかり検討するように申し出ている。有料化には反対という立場である。

問 老人福祉施設の永寿荘と豊寿荘の老人クラブ連合会への業務委託についてうまくいかなかったようだが、この点について詳しく聞きたい。

答 豊寿荘の自主運営は提案されていないが、永寿荘の自主運営は維持管理を住民団体により行う、運営する団体がない場合は施設を廃止するというのが当初計画では27年度からであった。予算委員会では民営化とか指定管理という話も出ているが、基本的には廃止という方向は変わっていない。

問 住民として町長の顔が見えてこない。住民に近づくというか、人が集まるところに出てきて住民と話をする場を作って欲しい。また今回2回目となる議会報告会、これからもぜひ定期的を開催してもらいたい。

答 議会基本条例を制定し、住民のみなさんにわかりやすい、議会運営に取り組んでいます。一般質問のインターネットの中継、議会だよりに議員の採決結果も掲載し、住民のみなさんにはよくわかるような状況になってきていると思う。町長のことに関しては、意見があったこと

を伝えておきます。

〔要望・意見〕

- 福祉の5カ年計画について
- 業務改善活動について
- 希望カ丘のバス問題について。

●土砂崩落に関すること

問 埋立ての件で、500m²から3,000m²は町の許可が必要ということだが、町が責任を持つ、お金を持つということなのか。また、許可を出すためには町職員にそのような知識を持つ者がいるのか。

答 3,000m²以下は豊能町が許可をするので、災害が起きた時は豊能町が対応することになる。かかった費用は事業者が負担することになる。町職員の知識については、大阪府から専門官が一人来ているので、その人によってチェックできる体制にある。

問 新条例が7月から施行されるが、土地所有者にも共同連帯責任を負わすこと、また行為者には補償金をとっておくことが必要であると思うがどうか。

答 土地所有者の責任としては、この条例の中で監視することを謳っている。資金についてもチェックするようになっており、罰則については罰金100万円、禁固刑1年以内となっている。

以 上